

無臭・無排水・無汚泥・無導管・無薬品使用の循環式水洗トイレ「バイオマス・トイレ」	
<p>概要・品質・性能</p>	<p>特殊繊維や活性炭を活用してし尿をバイオの働きで分解し、自然蒸発させる処理装置付きの自己完結型循環式水洗トイレ。「水洗水のリサイクル使用」、「発生汚泥無し」、「浄化コストダウン」等の課題を解決する。また、トイレ便器・し尿処理装置の一体化による無導管化をはじめ、無臭・無排水・無汚泥・無薬品使用により、仮設水洗トイレから大規模水洗トイレまで応用でき、平常時には公衆トイレ・観光地トイレとして使用、災害時には移動して被災地の仮設住宅に設置することができる。</p>
<p>用途</p>	<p>① 公衆・公園トイレ ② 山岳トイレ（富士山麓朝霧高原トイレ・便器数126基40万回使用実績：写真1） ③ 被災地用移動式水洗トイレ（陸前高田市森林組合仮事務所：写真2）</p>
<p>実用化・情報</p>	<p>[試作・実験] 完了 [製造・販売実績] 有り [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等 [情報提供者] 関西ピー・ジー・エス(株) 代表取締役 鈴木 實 [連絡先] りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>
<p>技術移転</p>	<p>① 形態 部品・製品の供給、特許実施権供与、共同研究開発 ② 相手先 水処理業ベンチャー企業を希望 ③ 地域 国内・海外のいずれでもよい</p>
<p>特許等</p>	<p>特許登録 特許第4671888号 登録日 平成23年1月28日 特許権者 関西ピー・ジー・エス(株) 発明名称「汚水処理装置」</p>

《写真1》

富士山麓朝霧高原トイレとその前に並ぶ利用者



《写真2》

